

【間接指導における工夫】

「主体的に学ぶ児童」を 育てるための工夫



実践例

第2学年

算数「かけ算」

実践例

【間接指導における工夫】

～算数科の実践～ 第2学年 「かけ算」



学習リーダー（※）
を中心に、課題解決を
目指そう！



※間接指導時に、教師の指導の下に立てた学習進行計画によって学習をリードする児童のこと。

【間接指導を実践してみて感じていた課題】

- ① 児童の発言や行動を観察することが難しい。
- ② 課題についてどう考えていけばよいか分からず、何も活動できないまま時間が過ぎていく児童への対応が難しい。
- ③ 少人数であるが、同学年でも個人の学力差がかなり大きいいため、予定していたタイミングで「わたり」ができない。
- ④ 児童が互いの学習内容を気にしてしまい、集中できない。

【目指す間接指導】

一人一人が自分の考えをしっかりと持ち、考えを出し合ってみんなで話し合う中で、自分の考えをより広げ、深めていくことができる指導。



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説「算数編」P.42～
 「第2節 算数科の内容」「2 各領域の内容の概観」
 (2) 「A 数と計算」の内容の概観より
 第2章 算数科の目標及び内容

数学的な見方・考え方	・数の表し方の仕組み、数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること			
	数の概念について理解し、その表し方や数の性質について考察すること	計算の意味と方法について考察すること	式に表したり式に表されている関係を考察したりすること	数とその計算を日常生活に生かすこと
第1学年	・2位数、簡単な3位数の比べ方や数え方	・加法及び減法の意味 ・1位数や簡単な2位数の加法及び減法	・加法及び減法の場面の式表現・式読み	・数の活用 ・加法、減法の活用
第2学年	・4位数、1万の比べ方や数え方 ・数の相対的な大きさ ・簡単な分数	・乗法の意味 ・2位数や簡単な3位数の加法及び減法 ・乗法九九、簡単な2位数の乗法 ・加法の交換法則、結合法則 ・乗法の交換法則など ・加法及び減法の結果の見積り ・計算の工夫や確かめ	・乗法の場面の式表現・式読み ・加法と減法の相互関係 ・()や□を用いた式	・大きな数の活用 ・乗法の活用

数量の関係に着目したこの内容を同時期に学習する。

間接指導時に、計算の仕方を確認したり、九九を唱えたりするなど、練習問題を多く取り入れて習熟を図ります。

		学習内容	
時数	1年「たしざん(2)」	時数	2年「かけ算(2)」
1	ブロック操作で繰り上がりのあるたし算の仕方を捉える。 10の補数を利用した計算方法を作る。	この線下の横の学習内容を合わせると、間接指導が可能になる。	
2			
3	被加数が6以上のたし算を考	1	アレイ図を使いかけ算の意味を捉える。
4	被加数が5以下のたし算の計算を考	2	6の段の構成を知り、唱え方を練習し、適用題を解く。
5	たし算カードを使って、繰り上がりのあるたし算を練習する。	3	7の段の構成を知り、唱え方を練習し、適用題を解く。
6		4	8の段、9の段を自分で作り、唱え方を練習し、適用題を解く。
7		5	8の段、9の段を自分で作り、唱え方を練習し、適用題を解く。
8	たし算カードの答えを順序良く並べ、並び方のきまりを調べる。	6	基準量が1のときのかけ算の意味を理解し、構成を捉える。
9	学びのまとめをする。	7	かけ算の問題作りをする。
	2年生のかけ算(2)が終わるまで、「かたちづくり」の学習内容を進める。	8	練習問題をする。
		9	乗法と加法、減法が組み合わされた問題を解く。
	学習クイズ大会を行う。	10	L字型に並んだものの数をかけ算を使って解く。
		11	
		12	
		13	学習クイズ大会を行う。

課題

①

児童の発言や行動を観察することが難しい。

手立て

間接指導中の児童の活動を見取ることができるノート等の教師のコメントを工夫・充実させる。

児童のノートより

6 × 3 の
ばよいか。

自分の考え
しき $5 \times 3 = 15$
こたえ $15dL$

グループでの話し合い
の か た ま り
か が 6 × 3
の か た ま り
か が 6 × 4
赤 の と こ ろ
た か ず。

ふりかえり
より も、 6

② $3dL$ $3dL$ $3dL$ $3dL$ $3dL$
= 15 3 が 5 つ ある から、 3×5
は $10dL$ だから、 $1L$
こたえ $15dL$ 、 $1L5dL$

③ しきがぎゃくだったけど、
はなしあったとき、
んが \square でおしえてくれたので
かかりました。

□の○っ分は、 \square にかき
められた!! 話し合っている
思ったことは、つぎは、 \square かき
まわす。



児童が間接指導の間に何を考えていたのか、どのように学習を進めていたのかを振り返らせ、それを評価して児童に返します。

その他

【教師のアドバイス例】

友だちの話を聞いて、考えや方ほうがいいなと思ったことはどんなことだったかを「ふりかえり」に書くようにするといいね。

まちがえたところは、けさずにそのままのこしておこう。

成果

- 間接指導中に、課題に向かって自力解決を目指す児童が増えてきた。
- 友達の考え方のよいところをまねして、自分の学習に生かす姿勢が見られた。
- 教師のコメントの内容を充実させたことで、児童のやる気につながった。
- 教師が児童一人一人のつまずきに気付き、指導に生かすことができた。

課題

②

何も活動できないまま時間が過ぎてしまう児童への対応が難しい。

手立て

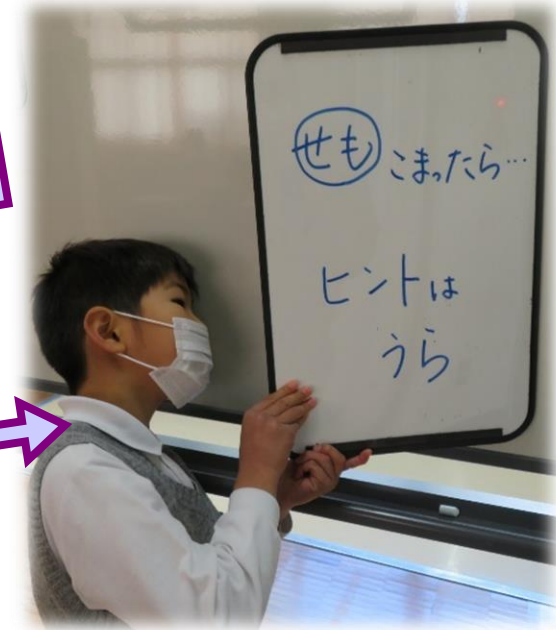
授業のパターン化を図るとともに、相談しながら活動できるようにペア学習を取り入れる。

【授業のパターン化の例】

- 1 おさらい（前時の復習）
- 2 めあての確認
- 3 課題把握・自力解決学習
- 4 ペア、グループ学習等
- 5 たしかめ
- 6 今日のまとめ
- 7 ドリル、学習支援ソフト

自力解決の時間は5分。
学習リーダーがタイマー
をセットし、指示する。

解き方のヒントを小黒板
に書いて裏返しに置き、自
力解決の困った時にいつで
も見られるようにしておく。



成果

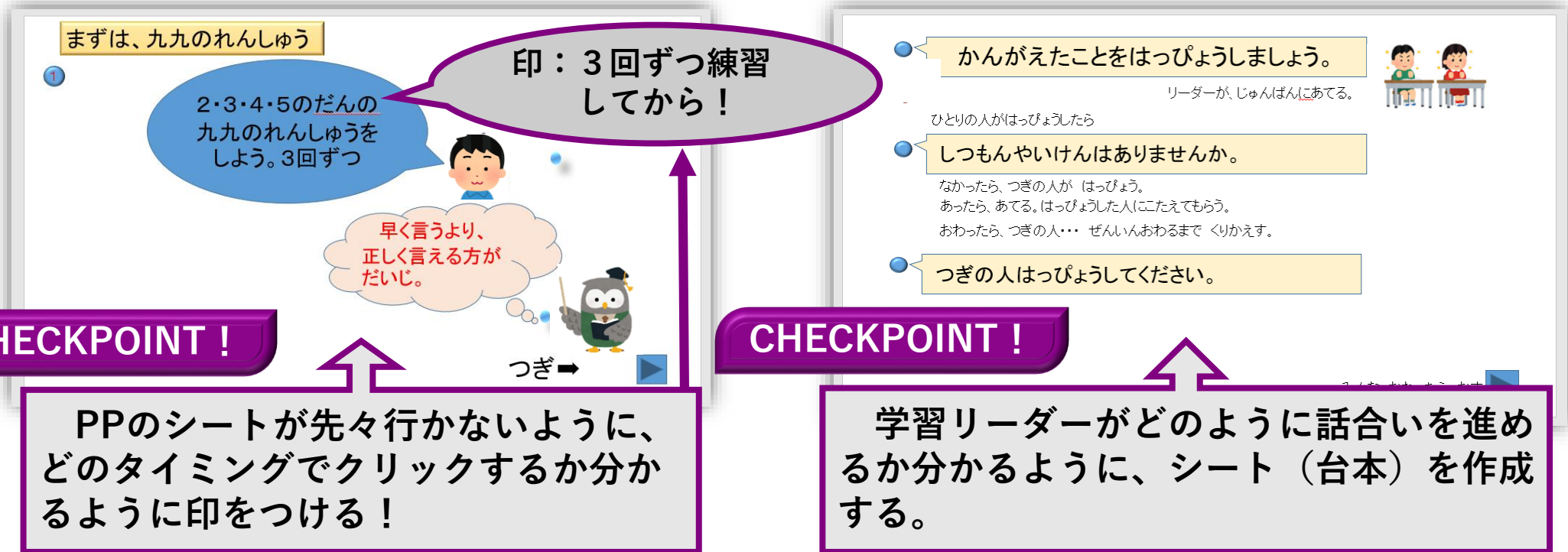
- 学習リーダーが学習をリードすることが難しそうな場合に、パターン化をすることで、リーダーが何をすればよいか分かり、ペア学習をするタイミング等の指示を出せるようになってきた。
- ヒントが書かれた小黒板を準備しておくことで、算数が苦手な児童に、それを見て問題解決ができたという達成感を味わわせることができた。

③

予定していたタイミングで「わたり」ができない。

手立て

学習リーダーを中心に学習ができるように、本時のめあてや学習課題を提示したパワーポイントを作成する。



成果

- 意欲的に学習リーダーになろうとする児童が増え、主体的に学習することができた。
- 授業で押さえておきたいポイントを準備しているため、大切なところを理解し、児童たちだけで学習を進めることができた。

【教師の課題】

- シートを作るのに時間がかかる。

時間はかかるが、教師が分かりやすいシートを作成しておくことで、学習リーダーを中心に児童たちが主体的に学習を進めていくことができます！

課題

④

児童が互いの学習内容を気にして、集中できない。

手立て

「気になる」を逆手にとって、異学年合同で既習内容の学習クイズ大会を開催する。

だい7もん 2年生もんだい (3もん)

* つぎの しきを答えましょう。

① 3の 5つ分 3×5

②  1×1

③ 1ふくろ4こ入りのキャンディ 8ふくろ 4×8

正かいは？

CHECKPOINT !

児童一人一人がホワイトボードに答えを書き、答えがあっていたら1ポイントとする。
最後に赤組白組に分かれて合計ポイント対決をする。

CHECKPOINT !

各学年のシートを交互に作成する。

成果

- 上学年の児童たちは、下学年の学習内容の復習をすることができた。
- 下学年の児童たちは、「これ授業中に聞いていたから分かる！」と、上学年の学習内容を自主的に勉強するなど、その後の算数への興味・関心が広がった。
- パワーポイントを使用することで視覚的に見やすくなり、アニメーション機能を付けた答えが出るたびに一喜一憂して盛り上がり、学習意欲が高まった。
- グループ対抗のクイズ大会にしたことで、学級全体が応援し合う、温かい雰囲気になった。



まとめ

「主体的に学ぶ児童」を育てるための工夫

ポイント①

日頃から、主体的に学ぶことの意義や大切さを伝え、自覚を促す。

ポイント②

毎時間の学習の流れをパターン化することで、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるようにする。

ポイント③

話合いの進め方が分かる台本等を用意することで、誰もが学習リーダーとして、学習を進める力が育つようにする。

ポイント④

児童自身で練習問題の丸付けができるようにし、多くの練習問題を解いて基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

児童に主体的に学ぶ習慣が身に付くと、教師の心と時間のゆとりが生まれ、更なる学習指導の充実につながる。

